

人権について考えました



1月20日、大島文化センターで周防大島町人権教育推進大会が開催されました。オープニングでは明新小学校4年生がリコーダーを使った『エーデルワイス』などを披露し、式典では人権教育啓発作品の表彰と紹介などが行われました。

その後の記念講演では、山口短期大学非常勤講師、山崎凱千さんと奥さんの喜久子さんが、歌と演奏を通じて、相手を否定しないで認め合う大切さを話されました。

また24日には、山口地方事務局岩国支所などの主催による、人権出前講座が三蒲小学校で開催されました。

講座では人権擁護委員の方から、「人権とはみんなが幸せに暮らすことで、そのためにはみんなが助け合って、仲良くしてください。」と説明され、児童は人権の大切さについて学びました。



▲20日：山崎夫婦によるピアノとフルートの演奏の様子



▲24日：三蒲小学校では人権イメージキャラクター人KENまもる君（写真左）と人KENあゆみちゃんも登場し、人権について教えてくれました。

中高一貫教育だよ切

⑤

ふれあいマラソン大会を開催

中学生、高校生と地域住民がふれあうとともに、中学生と高校生の心身の健全な発達や健康の保持増進、体力の向上を図ることを目的に11月16日に東和中学校、安下庄中学校、周防大島高校安下庄校舎の生徒が参加し、三校合同で第12回ふれあいマラソン大会を開催しました。

高校グラウンドを出発点に、男子は5km、女子は3kmをゴールの安下庄中学校をめざして300名以上の生徒が駆け抜けました。一生懸命に走る生徒の姿に、地域の方々からたくさん温かい声援をいただきました。最後まで力を振り絞って走った生徒一人ひとりの表情には、充実感と達成感が見てとれました。

ふれあいみかん収穫作業

12月13日に周防大島町内のみかん農家に御協力いただき、久賀中、大島中、東和中、安下庄中、周防大島高校の生徒が参加して、「ふれあいみかん収穫作業」を実施しました。

この行事は中学生と高校生の交流はもとより、地域の産業について理解し、勤労の貴さを知り、職業観を身に付けることを目的として毎年この時期に行っています。農家の方からみかん採取の方法や作業の仕方などを教わり、慣れないながらも真剣に取り組みしました。



▲大会の様子

生徒の感想（収穫作業）

- ・ふれあいみかん収穫作業はとても楽しかったです。とてもよい体験となりました。
- ・今回でみかん収穫は二度目でしたが、こんなに集中して長時間収穫できたので終わった後満足感や達成感があって、とても良い体験となりました。
- ・今回僕が一番印象に残っていることは、農家の方と会話しているときの笑顔です。この行事が行えて良かったと思います。

■問い合わせ 事務局

周防大島高等学校 ☎0820(77)1048